

学校の様子（12/11～12/15）

12/11（月）市が洞小のハローワーク（3回目）

本日、9・11月に引き続き、開校10周年イベントの一環で、「市が洞小のハローワーク」の3回目を朝会時に行いました。講師として、本校出身で、名古屋グランパスエイトに所属している深堀 隼平選手に来ていただきました。

まず最初に、リフティングとシュートを実演していただき、子どもたちはプロ選手の実力を実感することができました。そのご、サッカー選手になったきっかけ、学校に行っていたときの勉強と運動の両立、今後の目標など、多くのことを話していただきました。終了後には、6年生全員と記念写真を撮りました。子どもたちにとって、身近にプロ選手を感じるとてもよい機会となりました。



12/11（月）校外学習（3年）

本日、3年生の2クラスが、社会科の学習で地域にある商業施設の見学をしました。店内の施設や売り場・働く人の様子を見学したり、売り場の工夫について調べたりしました。また、実際に売り場で働く人に気を付けていることについてインタビューすることもできました。残りの4クラスも、今週見学をします。



12/13（水）福祉実践教室（5年）

本日、5年生が福祉実践教室を行いました。最初に全体で講義を受け、その後、手話体験、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、車イス体験、高齢者疑似体験の5つのコースに分かれて体験活動をしました。その中で、障害のある方へのサポートの仕方などを学びました。この体験活動を通して、子どもたちはみんなで助け合い、共に生きていこうとする意識を高めることができたのではないかと思います。日頃から、この意識をもちながら生活できるようになるよう、これからも様々な機会福祉について考えさせていきたいと思ひます。



12/13（水）戦争体験を聞く会（6年）

本日、6年生が「戦争体験を聞く会」を行いました。元県教育長の安井俊夫氏を講師に招き、6年生を対象に太平洋戦争のを中心にお話をいただきました。戦争の怖さ、悲惨さ、今の生活がどれほど幸せなものかを改めて感じていました。



12/14（木）命の授業（2年）

本日、2年生が「ぼくわたしのたんじょう」の授業をしました。講師として助産師さんを招いて、自分におへそがある理由やお腹の中での赤ちゃんの成長の様子を知ったり、産道体験や赤ちゃん人形だっこ体験をしたりしました。この授業を通して、命の神秘性や大切さを理解し、自分の命を大切にしようとする気持ちをもつことができました。



12/14（木）いっちーあいさつフェス

12日から、児童会役員とあいさつ委員が中心となって、いっちーあいさつフェスを行っています。これは、進んであいさつする人を増やして、あいさつで市が洞小学校を盛り上げ、あいさつの大切さに気づかせることをねらっています。子どもたちは、楽しくあいさつをすることで、気持ちよく一日を始めることができるようになってきました。



12/15（金）認知症サポーター養成講座（5年）

本日、市の社会福祉協議会の職員1名、キャラバンメイト3名を講師に迎え、認知症サポーター養成講座を体育館で行いました。認知症についての概要について説明を聞いた後、認知症の人に対する対応の仕方についてクイズが出され、多くのことを学びました。この学習を通して、子どもたちが自分の身の回りのお年寄りだけでなく、地域の方との関わり方についても意識をもてるとよいと感じました。

